

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回 西目地域協議会
開 催 日 時	平成21年10月30日(金) 午後3時00分
開 催 場 所	西目公民館「シーガル」講堂
出 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
会議次第	
1. 開 会	
2. 会長挨拶	
3. 理事挨拶	
4. 協 議	
(1)「地域づくり推進事業」について	
(2)「さくら満開まちづくり事業(ふるさとさくら基金関係事業)」について	
5. 報 告	
・「由利本荘市定住自立圏形成方針」について	
6. その他	
7. 閉 会	
会 議 の 経 過	別紙のとおり

◆委員出席者・欠席者名簿

(委員出席者23名)

No.	委員区分	氏名	出席	欠席	備考
1	1	高橋 正太郎	○		
2	1	藤田 博	○		
3	1	齋 博 博 明	○		
4	1	三浦 司	○		
5	1	清橋 一 広	○		
6	1	岡田 豊	○		
7	1	今村 浩 一	○		会長
8	1	佐々木 與 孝		○	
9	1	加川 一 男	○		副会長
10	1	渡辺 耕 一	○		
11	1	加藤 勝 栄	○		
12	1	佐々木 久 尚	○		
13	2	近藤 洋 子	○		
14	2	熊田 眞 弓	○		副会長
15	2	高橋 妙 子	○		
16	2	新田 亮 次	○		
17	2	齋藤 久	○		
18	2	長根 サカエ	○		
19	2	池田 義 夫	○		
20	2	鷹島 長 一		○	
21	2	佐々木 孝 悦	○		
22	3	須藤 紘 之	○		
23	3	伊東 順 子	○		
24	3	須田 誠 一		○	
25	3	鈴木 優 子		○	
26	4	須田 達 雄	○		
27	4	佐藤 征 男	○		
計			23	4	

※委員区分は条例第5条の区分に従い番を記入

◆由利本荘市出席者名簿

(市出席者11名)

役職	氏名	
理事	猿田 正 好	
西目総合支所長	小川 弘	
西目総合支所振興課長	石川 隆 夫	
西目総合支所主幹兼市民課長	齋藤 義 博	
西目総合支所福祉保健課長	榊 豊 昭	
西目保育園主席参事兼園長	小石 要 子	
西目総合支所産業課長	釜台 憲 二	
西目教育学習課長	増村 邦 子	
西目幼稚園参事兼園長	植村 利 子	
西目総合支所振興課課長補佐	齋藤 正 人	振興班班長
西目総合支所振興課主任	齋藤 正 美	振興班(地域協議会事務担当)

会議の経過

第2回西目地域協議会

平成21年10月30日(金)

午後3時00分 開会

○ 石川振興課長

委員の参集状況と会議の開催要件を満たしていることを報告し、地域協議会の開会を宣言。

○ 今村会長あいさつ

本日は大変お忙しい中、第2回西目地域協議会に出席くださりまして誠にありがとうございます。

1時半に始まった会議から引き続きの方も沢山いらっしゃいますが、どうかよろしくお願ひします。

今日の協議内容については、あらかじめ資料が配布されておりますので十分ご承知であろうと思いますが、私はいつもの協議内容と少し違うなと感じました。これまでは、「予算がないのでどうしたら良いか?」というような協議内容が多かったような気がします。今回は「300万円の予算をどう使ったら良いか?」というような大変景気の良い協議内容になっておりますので、嬉しく思っております。

今回の市議会議員選挙では西目地域から立候補された3名の方が揃って当選されたわけでありまして、大変おめでたいことでもあります。また、地域の住民として、大変心強いと思っております。これからは、是非3名で協力し、公約を実現できるように頑張りたいと思っております。

また、西目町にはまだまだ沢山の課題や問題点が残っております。せっかく高速道路が出来ましたが、西目からは乗ることも降りることも出来ないということもありますし、立派な小学校が出来ましたが、まだプールがないというような問題もあります。こういった問題・課題が山積しておりますので、議員の皆さん・支所の職員の皆さんを中心として、我々地域協議会委員も一致協力しながら、そういった問題・課題を少しでも解決できたら嬉しいなと思っております。どうかよろしくお願ひ致します。

○ 猿田理事あいさつ

ご苦労様でございます。猿田でございます。挨拶と言うほどではございませんが、一言お礼を申し上げたいと思います。日ごろから皆様のお力添えを賜りまして、誠にありがとうございます。

ただいま会長さんからのお話でありましたとおり、日曜日に行われました市議会議員選挙では、西目地域から見事3名の議員がそれぞれ立派に当選されました。心からお祝いを申し上げますと共に、これからお世話になるということで非常に緊張しておりますが、皆様方と共に地域の課題等について出来るだけの取組みをして参りたいと思っております。

会長さんのご挨拶にもありましたが、今日の協議会は少し雰囲気が違うということですが、これまでの地域協議会では、市役所からの連絡事項やお願ひ事等が目立つようなことが多かったと思います。スタート時はそのような形が多くて仕方ないのかなという気がしますけれども、ここに来てやっといづらか地域の皆様の知恵を出し合っただけの機会が出てきたかなと思っております。

また、会長さんがおっしゃいますように突然景気が良くなったわけではございません。これは長谷部市長はかねがね「地域の皆様方の活力の源をなんとかして探し当てたい」ということを訴えて参りました。それぞれの地域にはまだまだ未開発なパワーが沢山あるということで、その一つの表現にな

るようなソフト事業を展開できないかということが、今回の私どもの提案です。300万が多いか少ないかというのは、色々な方の様々なご意見があるかと思えます。ただ、金額が多ければ良いというわけではないでしょうし、少なくとも中途半端で駄目だという事になるでしょうし、出来るだけ制限を設けずに、地域の皆さんから知恵を出し合っていて、地域が一丸となって「新しい取組みに期待できるぞ」というものを計画していただきたいと思えます。後ほど支所の方からご説明があると思えますが、支所としても出来るだけ制約はつけないと思えます。ただ、役所の公金を皆様方にご提供しながら提案していくので、それは地域振興に資するための常識的なソフト事業にさせていただきたいと思えます。また、一年間では結果として得るものは出てこないというご意見も当然あると思えます。来年、再来年の予算に関して、私ごときがこの場でお約束するなどとは非常におこがましい話ではありますが、市長も「こういったことは2～3年かけてきちんと結論を出して、地域の皆様方のパワーが生まれるような仕組みを作らなければいけない」とははっきりと申し上げておりますので、予算付けは色々な立場の方々に審議していただく必要があるとしても、継続性のある事業の展開ということを視野に入れてご検討いただいて構わないと思っております。

それと前回、定住自立圏構想について色々とお知らせしましたが、9月の議会で承認をいただきました。今日はその内容について簡単なご説明があると思えます。一部項目が追加されている部分がありますが、これは地域協議会の皆様方はもとより、市の議会へご説明した際に追加の要望があったものについて、検討の結果、具体的に付け加えたものです。また、表現の仕方をそれぞれの各地域ごとにしたほうが良いという総務省からのご指導があったことにより、このような表現に変わっております。今日はじっくりご説明を聞いていただきまして、27名の地域協議会委員の皆様方がお住まいの地域、所属する団体、お知り合いの方等、色々な方々にご相談のうえ、「私たちはこういったものを必要としている」あるいは「地域の人たちはこういったものを望んでいる」といったものを是非とも見つけていただきたいと思えます。それについて知恵を出し合って総合支所へお届けいただいて、そこから立派な提案がなされますように期待を申し上げて、今日の会議にあたっての私からのご挨拶とさせていただきます。お世話になりますけれどもどうぞよろしくお願いいたします。

○ 今村会長

どうもありがとうございました。それでは早速協議へ移りたいと思えます。協議1・2と報告がありますが、時間配分をしたいと思えますがいかがでしょうか？

○ 石川振興課長

以前からこの会議は長くても2時間以内で進められてきましたので、だいたい2時間くらいでお願いします。

○ 今村会長

では、これから2時間よろしくお願いいたします。出来るだけスムーズに進むよう、慎重かつ活発なご協議をお願いいたします。

それでは、1番目の「地域づくり推進事業」について、総合支所の振興課よりお願いします。

○ 石川振興課長

資料1をご覧ください。資料は3枚ございまして、事前に配布させていただきましたのでご一読いただけたものと存じますが、一通りご説明させていただきます。

はじめに、1枚目の資料1『「地域づくり推進事業」実施要領(案)』をご覧ください。まず、趣旨については先ほど猿田理事からもお話がありましたが、資料を読み上げさせていただきます。

まず、事業の趣旨ですが、「地域協議会からの事業提案を基に、地域における文化・交流事業、観

光事業、協働のまちづくり事業等、特色のある事業(ソフト事業)を推進し、地域の活力増進と連帯感の創出を図ることにより、市全体の活性化に資することを目的とする。」となっております。

次に、対象事業ですが、3種類に分類されております。

1つ目は、「イベント事業」でありまして、文化・交流・観光等のいわゆるイベント事業であります。

2つ目は、「研修事業」となっております。生涯学習・人材育成等のいわゆる人づくりに関するような研修事業ですが、解釈しだいで間口がだいぶ広がるものと思います。

それから3つ目の「環境整備事業」ですが、環境美化活動等となっております。

対象事業は以上の3種類になっておりますが、※印で補足が記載されておりますが「実行委員会等の団体が実施する事業への補助も含む。」、「上記の事業で市等が実施する既存事業のグレードアップも可。」と謳っております。

この意味は、事業実施主体は、地域協議会や総合支所の各担当でだけではなく、これらの事業を実施する任意団体への補助でも良いという事。

また、既に市等が予算措置をして実施している事業であっても、その事業の質を高めるようなものや規模を拡大するようなものであれば良いという事です。

事業の予算枠については、1地域300万円を上限とします。これは全ての地域一律・同額です。

次に事業の進め方についてご説明します。

①事業計画の取りまとめ

通常、前年度の10月末までに各地域協議会において次の年の事業計画をまとめます。予算要求の提出が毎年だいたい11月の下旬頃になるということで、当初予算の予算要求前にまとめることとなります。ただし今年度につきましては、この事業提案が9月頃だったということで間に合わず、出来れば12月中、遅くとも1月中には取りまとめたいと思っております。

②予算要求

取りまとめをした事業計画に基づき各総合支所が予算要求をします。通常は、賃金・旅費・消耗品費等、予算の節ごとに細かく分けて予算要求されるのですが、今年度は取りまとめ作業が間に合わないということも想定されますので、来年度の事業費について現時点では、当初予算では一括して補助金として予算要求をすることになろうかと思われれます。事業の内容が決まり次第、6月補正あるいは4月1日の専決処分というような方法で細かく予算配分されるということが想定されます。

③予算の決定

このようにして取りまとめました予算案が、市議会3月定例会へ提出され、市議会の議決を経て決定されるという運びになります。

④事業実施

4月から翌年3月までの間に事業を実施する事になります。

⑤事業報告

地域協議会において事業の結果を報告します。

以上の記述を図示した資料の『「地域づくり推進事業」の実施フロー』という横長のプリントをご覧ください。この資料では(ア)～(サ)までの順で事業が進められることを示しています。

まず、「(ア)事業計画の提案」ですが、地域協議会の各委員(委員個人)、総合支所の各担当、この2者から事業計画が提案されます。その(ア)で提案された事業を「(イ)総合支所が取りまとめ」を行います。そのとりまとめたものが「(ウ)原案」となり、「(エ)地域協議会」へ内容協議のため送られ、決定していただきます。その決定の内容は「(オ)決定(回答)」という形で、「(カ)総合支所

長」へ回答が送られます。その送られた回答を基に総合支所が予算要求を行います。予算が決定されると、事業の実施主体が実行委員会等の場合は、「(キ)補助金申請」が行われます。これを受け、総合支所長から事業の実施主体である実行委員会等、地域協議会、総合支所の各担当へ「(ク)決定(通知)」が行われます。決定(通知)を受けた事業実施主体は4月から翌年3月までの間に「(ケ)事業実施」します。事業完了後は「(コ)事業完了報告」を事業実施主体から総合支所長あてに報告されます。それを受け総合支所長は各事業の実施報告を取りまとめ地域協議会へ「(サ)事業報告」を行います。以上が地域づくり推進事業のながれとなります。

1枚目のプリントにお戻りください。

この事業に係る経費のうち、対象外とされる経費についての説明です。

- ・食料費(ただし、イベント、講演会等のゲスト・講師に係るものを除く)
- ・宗教的な費用経費
- ・観光地見学等、慰安目的の旅行経費
- ・個人に対する助成等の経費
- ・市の財務規則上認められない経費 これらを対象外経費としています。

また、※印の補足説明ですが、「補助事業である場合、上記経費は補助対象としない。」と記載されておりますが、この意味は、地域協議会・総合支所の各担当が直接行う事業の場合はもちろん対象外ですが、各組織・団体へ補助金として交付された場合であっても、上記5つの経費は対象外になるという事です。また、ここに記載されておりませんが、各町内会へ均一に交付するような、いわゆるばらまきの運用方法は除外するべきではないかという指示を受けております。

3枚目のプリントをご覧ください。

これは事業計画を提案する際の、提案書の様式です。上の方から提案者氏名・事業名・事業実施主体とあり、事業主体は地域協議会・総合支所の各担当課、または実行委員会等の団体の3種類のうちのどれかになると思います。その次に事業内容・実施時期・実施場所・事業費とあり、事業費の中に「市の負担額」の欄がありますが、ここに300万円で支出される金額が記載されることとなります。その下の費用内訳ですが、私の解釈では、事業全体の費用内訳ではなく、市が負担する費用の内訳を記載する欄になっているのだと思います。あとは、特に記載することがあれば備考欄に記載します。

これらを記載していただきまして、各地域協議会の委員の皆さんからご提案いただきたいと思えます。以上です。

○ 今村会長

ありがとうございました。大変簡潔・明解に説明していただきましたので、皆さん充分ご理解されたようですが、何か質問はございませんか？

今回の提案者はここにいらっしゃる地域協議会の委員の皆様ですので、なんとか良いアイデアを出していただきたいと思えます。そのためにはこの中身を充分ご理解していただかないといけないと思えますので、もう少し時間をかけてご質問をお受けしたいと思えます。

○ A委員

例えば、提案が一人で2つ以上ある場合はどうでしょうか？一人1提案でしょうか？

○ 石川振興課長

一人で10でも20提案でも結構です。用紙は大量に準備しておりますので、今日お帰りの際に必要な枚数をお持ち帰りください。

○ 今村会長

他にございませんか。先日、役員の5名が集まり協議した際に、具体的な補助対象となる事業も出たわけですが、参考までにお話しただければ委員の皆さんの理解が深まるのではないかと思いますのでいかがでしょうか？

○ 石川振興課長

今月の14日に5名の役員の方にお集まりいただきまして、本日の会議案件の協議と共に、この地域づくり推進事業にはどんなものがあるのかという事が話し合われましたので、本日配布させていただきました横長のプリントにまとめております。例えばということで、詳しく内容を詰めたものではなく、1番～13番まであくまでも参考例として記載させていただきました。

中には、4年前に合併してから補助金や事業費が削減されたようなものも若干含まれておりますが、例えば、1番目の関東地区西目会によるふるさと交流事業です。毎年11月下旬頃に、関東地区にお住まいの西目地域出身の皆さんで構成される「ふるさと会」の総会が開催されております。その際、西目の事業者の方々による物産展等が開催されておりましたが、年々予算が無くなってきたため難しくなっている状況です。この事に関して、今まで通りに開催して欲しいという大変強い要望があり、参考例として記載させていただきました。経費は記載されておりませんが、こういうものもありますよ。ということで記載させていただいております。

1番と2番はふるさと交流関係の事業となっておりますが、その他にも様々な事業例を記載しており、全部で13項目の参考例を作成させていただいております。

○ 今村会長

この13項目の参考例にとらわれずに、その他にもこういうものがあるのではないかと一ご意見やご質問等はありませんか？

○ B委員

具体的な地域づくり推進事業例ということで13項目が出ていますが、これらの事業主体の中には、市や県等から何らかの補助金をもらっている団体があるかと思えます。他から助成を受けているのであれば、地域づくり推進事業の為に補助金はもらわなくても良い場合もあるのではないかと思います。実際に補助金をもらっている団体等はこういったものが説明していただきたいと思えます。

○ 石川振興課長

補助金の上乗せでも良いことになっているのですが、例えば6番の「桜・菜の花まつり」、或いは8番の「西目健康マラソン」等につきましては、現在も補助金を交付しております。ただし、「桜・菜の花まつり」は市から直接交付されているわけではなく、市観光協会を經由し主催者である市観光協会西目支部へ交付されております。

○ 今村会長

補助金をもらっている事業でも上乗せしても良いということですので、補助金をもらっているかどうかにかかわる必要はないという事ですね。他にございませんか？

○ C委員

昨日、市商工会の主催で測量競技会を行ったのですが、このような事業も対象になるものでしょうか？来年在る20回の記念大会で、前の町長さんでありました佐々木誠一郎先生が由利地域の測量技術の向上を目指して立ち上げたという、歴史と伝統のある素晴らしい競技会ですので、これから

も続けていきたいと思っております。

○ 小川総合支所長

この測量競技会は西目地域だけの事業ではなく、市商工会が主催する市全体の事業であると思われまます。地域づくり推進事業の対象となる3つ事業のどれに入るかと考えると、イベント事業でも、研修事業でも、環境整備事業でもないような気がしますので・・・少し検討させてください。

○ C委員

(西目地域だけの事業ではないという意見に対して)大会を盛り上げるためにということで、矢島の山科建設等、西目以外の地域からも企業を呼んでおりますので、ご検討お願いします。

○ 小川総合支所長

では、地域づくり推進事業の提案書を出していただいて、それから検討したいと思っておりますのでよろしくお願いします。

○ D委員

今の説明について一つ確認します。今回の事業の対象は、西目地域全体が対象となる事業という意味ですか？それとも各町内会等で実施する事業でも良いのですか？

○ 石川振興課長

単一町内の中で収束するような事業はやはり良くないのかなと考えております。ただ、全ての事業が地域全域を対象にしなければならないかという、必ずしもそうでは無いと思えます。

例えば先日の役員会で話ができましたが、潟端町内・豊栄町内・若松町町内の3町内で環境美化活動が伝統的に行われているという話ができました。そういった場合は該当するののかという話が出たのですが、微妙ですがぎりぎり該当するのではないかと考えられます。単一町内の中で収まってしまうような事業は、やはり難しいのかなと考えております。

○ E委員

8番の西目健康マラソンですが、年々予算がなくなり大変な思いをしております。来年も予算がほとんどない状態であると聞いております。去年は10名程度の人数で広告料と協賛金の協力活動を行いました、あまり沢山集まらなかった、今年40~50人くらいの大人数で活動しました。来年、再来年とこのような状態を何年も続けていくのは大変だと思いますし、色々イベントを行うのは良いと思いますが、予算が無くて苦勞するのはいつも同じ人です。来年は26回目になりますが年々予算が少なくなり、毎年同じ方に協賛金をお願いしに行かなければならず、私たちお願いをしに行く側としてもとても心苦しい思いをしています。例えば、今年は各イベントを少し縮小して予算が少ないイベントに少し多めに割り当て、次の年はまた別の予算が少ないイベントに対して割り当てる、というような工夫があるとありがたいと思います。

○ 今村会長

是非、この8番の西目健康マラソンを対象事業にしてほしいという要望と捉えてよろしいでしょうか？

○ E委員

西目健康マラソンは、西目地域の方々だけではなく、他県の方々も参加されてとても喜ばれていま

すので、是非長く続けて欲しいという要望もありますのでよろしくお願いします。

○ 増村教育学習課長

実行委員会となって今年で2年目の開催で、今年の参加者は403名ほどでした。この事業に対して、「元気なふるさと秋田づくり活動支援事業」という県の事業を活用して、県から事業費の3分の1の補助を受けております。それから、市の方からも去年は20万円、今年度は30万円の補助を受けて、それでも足りないところを広告料・協賛金等で補っています。今年度からはそれでも足りないということで、参加者にも負担をしていただき、大人の参加費を倍額にして1,000円から2,000円にしました。おかげさまで、今年は何んとか開催することが出来ました。

来年度の事ですが、県からは、こちらから事業の申請をすれば、3年間までは内容を審査したうえで補助の決定をしていただくことが出来ると言われております。来年度、市の補助は今年の半額の15万円と以前からと言われております。幸いにも、地域づくりの事業ということになりましたので、来年度は協賛金の部分を補助の対象にさせていただければなと思い、こちらの参考資料へ記載させていただきました。補助金等の費用面では思慮を重ねさせていただいて、労力等は地域住民の皆さんのご協力を得て、来年度からも是非開催できますようにご協力お願いいたします。

○ 今村会長

ありがとうございました。実際に提案書を提出されるのは委員皆様であります。内容はだいたい理解できたかと思いますが、実際に提出される際、具体的にどこまで詳しく書くのか、事業費についてはなかなか分からない部分があると思いますので、最低限ここだけは書いて提出してくださいという所を説明していただきたいと思います。

○ 石川振興課長

事業実施主体が、地域協議会・総合支所の各担当である場合は書きやすいと思いますが、各実行委員会・任意の団体である場合でも、なるべく事業費までは書いていただきたいと思います。

各実行委員会や団体に対して、「300万円の予算で事業を行いますのでどうぞご応募ください」という公募の形は予定しておりません。というのは予算が伴う事で、「予算を決定するのは議会」という配慮もございます。公募はせずに、地域協議会の委員による各団体へのお声掛けに頼るところが大きくなります。この先、3回目の地域協議会の中で細かく事業決定するまで詰めていかなければならないので、委員の皆さんから各団体へお声掛けをしていただいて、少し話し合いをしていただきながら、できれば事業費までは書いていただきたいと思います。

○ 今村会長

ここに参考例がありますが、委員の皆さんには、これ以外にどんなものがあるか出来るだけ新しい案を出して、提案書を提出していただきたいと思います。提出期限はいつまででしょうか？

○ 石川振興課長

資料として取りまとめる都合もありますので、11月20日(金)頃までに提出していただくと助かります。

○ 今村会長

委員の皆さんのご提案が基礎になるようなので、委員全員から提案が出ますようにお願いします。

○ 石川振興課長

事業費の欄には、総事業費と市の負担額があり、肝心なのは「市の負担額」の方なので、そこを忘れずに記入していただきたいと思います。

○ 今村会長

では、2番目の協議に移りたいと思います。

○ 石川振興課長

それでは、2番目の「さくら満開まちづくり事業(ふるさとさくら基金関係事業)」について、資料2をご覧ください。

まず始めに、資料の下の方、囲みの中の「ふるさと納税制度」についてご説明します。

この制度は、ご承知の通り平成20年度にスタートしたものです。縁のある市町村等に対して寄付をした場合、寄付額のうち5千円を超える額のほぼ全額が住民税と所得税から税額控除されるというものです。由利本荘市では、この寄付金の使い道を明確にするために、「ふるさとさくら基金」を設置し、その基金を活用して実施する事業を条例で定めております。

【活用事業】

- ・由利本荘市の花「さくら」を活用したまちづくり
- ・由利本荘市の環境保全への取り組み
- ・由利本荘市の次世代を担う「こども」たちへの支援・育成

この中一つ目の事業が、今回の「さくら満開まちづくり事業」となっております。資料の一番上の方に戻りますが、平成21年度の予算額が市全体で300万円。これを8地域に分配しますと、1地域あたり37万5千円となります。この予算額の中で、基本的には桜を植樹するという事業になります。そこでどういう植樹内容になるかということですが、次に記載しております、施工例をご覧ください。例えば、ソメイヨシノ(高さ3.0m 二脚鳥居支柱添え木付)を20~25本程度を植樹し、標柱1本を立てるとだいたいこれで37万5千円の満額くらいになります。

そこで今日の協議会の中でご検討いただきたいのは、植樹の場所です。今年度、由利本荘市さくら満開まちづくりランドデザインというものが策定されました。そのランドデザインに掲載されている植栽候補地から選定します。2枚目のプリントをご覧ください。楕円で囲まれている部分が西目地域であり、植栽候補地は①~④までありますが、今年度は、昨年新校舎が建設されました②西目小学校の敷地内はどうでしょうかというご提案です。

実施の時期は、来年3月の月上旬。植樹の方法については、市民参加型で植樹をしたいと思いますので、来春卒業予定の小学校6年生を主体として、地域住民の方々・地域協議会の委員の皆さんにも参加していただいて植樹をしたいというご提案です。

○ 今村会長

ありがとうございました。大変具体的なご提案になっておりますので、委員の皆さんの異議がなければ賛成ということになりますが、ご意見・ご質問があればお願いします。

○ F委員

反対するわけではありません。今回の案としては、西目小学校の敷地内に植樹することともとても良いと思います。ただ、私は今回の資料を見て植栽候補地をまわってみました。桜というのはただ植えれば良いのではなく、その後の維持・管理をしっかりとすることが大切だと思います。例えば、さくら100景の中の浜館公園では、テングス病が流行っていて大変な状態でした。去年、桜マップを見て浜館公園に行きましたが、とても観られたものではないと不評でした。ハーブ通りもよく見ると木が枯れていて、手つかずの状態です。かしわ温泉周辺には、7年前に15本くらいの桜が植

えられましたが、植えっぱなしです。5本は完全に枯れてしまい、残った木はかろうじて葉が付いている状態です。それなのに桜マップには立派なことを書いています。

今回の小学校敷地内への植樹は良いのですが、その後しっかり維持・管理をするという形であれば賛成です。それが出来ない限りは、このような事業はやるべきではないと思います。

○ 今村会長

今回のさくら満開まちづくり事業の内容については賛成ということでしたが、植えっぱなしでは良くないので、今後はその後の維持・管理をしっかりしてほしいというご意見でしたがいかがでしょうか？

○ 石川振興課長

今年の桜はテングス病にやられて散々な状況だったということですが、現在、地域内全域の桜についてテングス病の剪定を行うための事業を策定しておりますので、そろそろ取りかかる頃かと思えます。今年、緊急雇用事業を用いて市内全域を剪定しますが、来年度以降はまだ決まっておりません。ここで申し上げてよいかわかりませんが、各総合支所には、先ほどの300万円の予算の他に、緊急的な修繕費として500万円の予算が置かれています。そこに、さらに来年度200万円を上乗せして、700万円のハード部分の予算を置きたいと市では考えております。今まで、緊急的な修繕費ということに限られていましたが、もっと使い道を広げて良いのではないかということのようで、その700万円の予算を用いて地域全域の桜の管理が出来ないかと担当職員で協議しました。その方法については、直営が良いのか、あるいはそういった団体を育成する方が良いのか等まだまだ検討の余地がありますが、来年度についてはこの700万円のハード事業で出来たら良いなと思っております。

○ 小川総合支所長

地域づくり推進事業の対象事業となる「環境整備事業」の一つとして、桜の維持管理事業を委員の皆さんに決定していただければ、ソフト事業の予算で維持管理も出来るかと思えますので、ご理解をお願いしたいと思います。

○ G委員

関東地区西目会に行った時に、会員の皆さんから、是非ふるさとに苗木を買って植えたいという声があり、それが去年のうちのだいぶ増えてきました。西目川沿線に植えたらという話もありましたので、西目出身のふるさとを離れた方も、自分のふるさとを思い出す糧になるだろうということで、お金を出しても苗木を買いたいという声もありました。こういった声があるということをご理解いただいて、このような方々の想いを少しでも実現できればと思います。

○ 今村会長

ありがとうございました。大変面白いお話で、今回関東地区西目会に出席される方は、是非具体的にお話を進めていただければ大変ありがたいと思います。

○ E委員

桜の木がだんだん大きくなってきています。私は幼稚園のバスに添乗しているのですが、ハーブ通りの桜の木もだいぶ道路の方に伸びてきていて、バスにぶつかります。場所によっては、高さのある車だと枝が車の上に被さり邪魔になるようですので、植える事には大賛成なのですが、そういった思いやりもあればさらに良いと思いますのでよろしくお願いします。小学校に植える際も、学校参観日の時に駐車場が狭くて困っておりますので、駐車場を広くとって、駐車するのに邪魔にならない

いような見晴らしの良い所に植えていただきたいと思います。

○ D委員

桜を植えるのは結構ですが、20本くらいで30万円くらいになるということで立派な木だとは思いますが、植える時に業者に任せきりにしないで、早く咲く種類の桜と遅く咲く種類の桜を植えて、咲く時期を少しずつずらして長く花を楽しめるようにした方が良いのではないかと思います。

○ 石川振興課長

まだそこまで細かくは考えておらず、参考例として挙げさせていただいたのですが、ご意見を参考に検討させていただきたいと思います。

○ 今村会長

他にありませんか。なければ、了承ということで原案の通り進めていただきたいと思います。次に報告へ移ります。

○ 石川振興課長

それでは資料の3をご覧ください。由利本荘市定住自立圏形成方針ということで、これは前回の第1回地域協議会の中で企画調整課より形成方針案が説明されまして、去る9月市議会定例会に議案として上程され、議決されております。この資料3が議決された内容です。前回の資料とどこが違うのかということですが、本日配布させていただきました『「由利本荘市定住自立圏形成方針」の策定について』というプリントに記載されています。ほとんど変わっていませんが、各地域協議会のご意見を参考にし、庁内で検討され修正されました。(修正内容を資料のとおり説明)

これが9月議会で議決された形成方針です。この策定された形成方針をもとに、具体的な事業内容を詰めていき、「圏域共生ビジョン」の原案作成に取りかかります。その後、「圏域共生ビジョン懇談会」で検討しながら、年度内の策定を目指してまいります。以上報告を終わります。

○ 今村会長

ありがとうございます。内容が大変多いので、この際、何か質問はありませんか？特に修正後は「西目地域の役割」が記載されていますので、それについてはいかがでしょうか？

○ H委員

西目高校にある農園を、市民農園という形で一部市民に開放していますが、市内の他の高校にはそのような自由に使える広いスペースはなかなかありません。西目高校と農園をうまく活用すれば、もっと一般市民との関わり合いを持てる環境にあるのではないかと思います。それについて市の方からも関わることは出来ないのかなと思っていました。

○ 今村会長

農業振興という点で、西目高校との関わりも非常に重要ではないかというご意見でしたがいかがでしょうか？

○ 小川総合支所長

市民農園として、一般市民に貸し付けできないかということですが、学校教育の場として高校が独自に行っているため、この場で判断するのはなかなか難しいと思いますので、学校の方と話し合い検討してみたいと思います。

- 今村会長
最近、市民農園というかたちでさつまいも掘りが行われたと新聞にも載っていました。農業振興ということで西目高校へお願いしたいことも沢山あるだろうと思います。
- 釜台産業課長
西目高校の市民農園についてですが、学校の授業として学校農園を市民へ開放しております。毎年募集をかけていますので、それに応募して市民が活用しているという状態です。積極的に活用していただければと思います。
- H委員
昨年少し見に行ったのですが、学校教育の邪魔をしたら申し訳ないという意識があるのか、参加者はあまり多くなかったように感じました。参加された方は非常に喜んでいましたので、学校と市でタイアップする形になれば、利用者はもっと多くなるのではないかと思います。
- 今村会長
ありがとうございました。西目高校の校長先生も、地域の方々に是非たくさん高校へ来ていただいて、学習内容を観ていただいて、もっと深い関わりを持ちたいという意見を持っているようでした。先日、退職校長会で西目高校にお邪魔した際にも、市民の皆さんの学校訪問を歓迎したいというようなお話もありましたので、もし出来たらそのような意見も考慮して事業を進めていただければ大変ありがたいと思います。
- D委員
生活機能強化に係る政策分野の「医療」の項目がありますが、市内に3つの救急病院がある中で、中核的に治療を受けられるということで組合病院があるようです。本当かどうかは定かではありませんが、先日婦長さんに伺ったところ、1日に1200～1500人くらいが来院する中で、医師1人でだいたい200人くらいの患者さんの診察をするそうです。そういった状況については当然、利用者も首をひねっていると思います。市は現在、医師を要望しているというだけで、市としてもっと役に立つ事が出来ると思います。具体的にはどこまでのことをやれるのかなと思っています。出来れば速やかに改善していただきたいと思います。
- 猿田理事
今ご指摘いただいた件は、定住自立圏形成方針の中でも非常に大きな位置を占めているテーマですが、それ以上にこの圏域(本荘由利地域)において一番の大きな課題です。ここ数年に渡って、由利組合総合病院の医療体制が年々、住民にとって不便どころか、不安を煽るような状態になってきている現状です。前市長から長谷部市長への引き継ぎ事項の中にも明記されております。先般、長谷部市長は知り合いの医師・病院を数件訪問して、由利組合総合病院へ非常勤医師として出向いていただくような取り組みを行っております。それだけ今の市政にとって最も重要な課題であるという認識があります。これは由利本荘市だけの問題ではなく、秋田県全体の問題で、秋田市以外では医師数の急増は見られません。勤務医の待遇が悪いのかどうか分かりませんが、産婦人科の医師においても市内で開業はしますが、病院内の医師は減少しております。従って、医師不足で外来診療もままならないという状態になっていることが、今まさに由利本荘市が直面している問題です。知事との懇談会等でも、秋田県全域でこのような問題が最も大きなテーマとして議論されておりますので、由利本荘市の先頭に立って、県内のこのような問題を知事等に訴えながらリーダーシップを取っていこうと頑張っているところです。すぐさま成果をあげて、皆さんにご納得いただける

だけの取り組みが出来るかどうか非常に難しい問題ですが、一生懸命、緊急的に頑張らなければならぬという認識を持ち、多方面に訴えながら取り組んでいきたいと思っております。

○ I 委員

この定住自立圏形成方針は9月の議会でも議決されたようですが、まだ最終協議には至らないようですので、2点お願いします。

1点目は、産業振興の中で、漁業振興が抜けているように思います。海岸線でおいしい魚も獲れますので、西目地域だけとは申しませんが、岩城・本荘・西目の役割の中に漁業振興についても記載していただければ嬉しいなと思っております。

もう一点は、CATVについてです。気象情報をよく観るのですが、岩城・大内地域等の天気予報はよく出ていますが、西目の天気についてはデータがないという状態ですので、そのあたりは改善されるのでしょうか。

○ 石川振興課長

CATVの気象情報については、これから市内全域に観測用の装置が設置されることになっており、来年の4月からは市内全域の詳しい情報を観ることが出来るようになりますのでよろしく申し上げます。

○ 小川総合支所長

漁業振興については、ここにあげるという事はなかなか難しいとは思いますが検討します。

○ 猿田理事

それぞれの地域にはそれぞれの特色があるという意見はよくわかりますが、「定住自立圏構想」というものの性格と、「由利本荘市の総合発展計画」というものとは、少し意味合いが違ってきます。簡単に言うと、定住自立圏構想というものは、市内を一円的に融合するための方策として、対外的に訴えるものをみんなで目指しましょうという発想です。漁業振興については、市全体の構想として総合発展計画の中の産業振興の中で十分に進められていますので、そういった意味合いの違いをなんとかご理解いただきたいと思っております。

○ 今村会長

ありがとうございました。

1時間35分の協議でしたが、大変内容が多く、貴重なご意見も沢山出たと感じております。長時間ご協議いただきましてありがとうございました。

これで第2回地域協議会を終了させていただきます。

(閉会 16時35分)